

空き家活用策探る

NPOがセミナー

空き家の活用策を考えるセミナーが14日、秋田市上手の遊学舎で開かれた。市民ら約50人が参加、空き家解消に向けたヒントを探った。N



PO法人住まい安心サポート秋田(佐々木義文理事長)のり、これまで57件が登録され、

秋田市

空き家の活用について考えたセミナー

主権。

市住宅整備課の担当者が、空き家対策の一環として市が2015年から行っている空き家バンク制度について紹介。制度は利用希望者のマッチングを目的に、空き家情報を市

36件が成約に結び付いたという。

担当者は、空き家の補修が必要だったり、家財が残っていたりして成約に結び付かなかったケースもあると報告。

「空き家バンクを周知させるとともに、補修費の助成など支援制度を充実させたい」と話した。

住まい安心サポート秋田の担当者は、同団体が所有者の要望に応じ空き家を外部点検する見守りサポート活動について説明した。

(阿部拓郎)